コンテンツをつくって発信するまで

伝えたいことを、文字・音声・画像・動画を組み合わせて発信するには、どう進めればよいだろう

例（架空）：地域の防災の工夫を、中学生に伝える短い動画をつくる

1 目的と受け手を決める

だれに・何を・何のために。
例：中学生に、避難の
準備を伝えたい

→

2 構成を考える

伝える順と場面を決める。
例：絵コンテ・
ナレーションの原稿

→

3 素材を集めてつくる

文字・音声・静止画・
動画を組み合わせる。
権利を確かめる

→

4 発信する

受け手に合うメディアを
選ぶ。例：学校の
Webページ・掲示

→

5 反応を見て直す

見た人の数・感想・
アンケートで評価し、
次の作品に生かす

評価をもとに、目的や構成から見直す

組み合わせ方の工夫（3 つくる）

文字	大事なことばを短く。字幕は音が出せない場所でも伝わる
音声	ナレーションで説明。聞き取りやすい速さで
静止画・図	持ち物の一覧などは、止めて見られる図に
動画	動きや手順を見せる。長すぎない

発信する前に確かめる

- ✔ **著作権：音楽・写真・地図を使ってよいか**
- ✔ **肖像権・個人情報：写っている人・家・名前**
- ✔ **正確さ：防災の情報が正しいか、出典はあるか**
- ✔ **だれにでも伝わるか：字幕・色・文字の大きさ**

※ 模式図。例は架空。